

# 言語発達学

[講義] 第2学年 前期 必修 2単位

《担当者名》 福田真二 fukuda@hoku-iryo-u.ac.jp 小林健史 辻村礼央奈

## 【概要】

言語とは、生物種の中でヒトのみが持っている非常に高度なコミュニケーション能力である。この言語の獲得過程を、発達の時系列に沿って学ぶ。

## 【学修目標】

### 【一般目標】

言語の発達過程を、時系列に沿って理解する。

### 【行動目標】

1. 言語発達障害を評価・治療するための基礎的な知識として、定型発達児の言語発達について理解し、述べることができる。
2. 構音・音韻、語彙、文法・統語、語用・談話に関する能力の発達過程を理解し、述べることができる。
3. 言語発達の基盤となる生物学的要因と環境要因について理解し、述べることができる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス  はじめに	科目の概要、学修目標、講義日程、学修内容、評価方法、読書課題、教科書、推薦図書、学修の準備、オフィスアワーの活用法を理解する。  言語発達の諸事実	福田真二
2 ) 3	コミュニケーション能力の発達	前言語期から初語期にかけてのコミュニケーション能力の発達について学ぶ。	小林健史
4 ) 5	音韻能力の発達	前言語期以降の音韻発達について学ぶ。	辻村礼央奈
6	語彙発達	初語から1歳半頃までの語彙発達の第1段階の特徴について学ぶ。	福田真二
7	語彙発達	1歳半頃以降の語彙発達の第2段階の特徴について学ぶ。	福田真二
8	統語能力の発達	2歳以降の統語能力の発達について学ぶ。	福田真二
9	文法能力の発達	2歳以降の文法能力の発達について、格助詞の獲得を中心に学ぶ。	福田真二
10	語用能力の発達	学童期以降も続く語用能力の発達について学ぶ。	福田真二
11	談話能力の発達	学童期以降も続く談話能力の発達について学ぶ。	福田真二
12	読み書き能力の発達	読み書き能力の発達について学ぶ。	小林健史
13 ) 14	第2言語習得	第2言語（外国語）習得と第1言語（母語）獲得の関係について、バイリンガリズムを中心に学ぶ。	福田真二
15	言語発達理論	言語発達を説明する理論について学ぶ。	福田真二

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

定期試験（筆記試験） 100%

## 【教科書】

教科書は使用しない。適宜、資料を配布する。

**【参考書】**

岩立志津夫 他 編 「よくわかる言語発達 改訂新版」 ミネルヴァ書房 2017年  
石田勝義 他 編 「あたらしい言語障害のみかた・治療・教育」 古今社 2014年  
岩田一成 他 編 「言語学・言語発達学」 メディカルビュー社 2022年  
小林春美 他 編 「新・子どもたちの言語獲得」 大修館書店 2008年  
秦野悦子 編 「ことばの発達入門」 大修館書店 2001年  
伊藤克敏 著 「ことばの習得と喪失：心理言語学への招待」 勁草書房 2005年  
伊藤克敏 著 「こどものことば：習得と創造」 勁草書房 1990年  
Gleason, J. B. 他 著 The development of language, 10th edition. Plural Pub Inc. 2023年  
Foster-Cohen, S. H. 著 An introduction to child language development. Routledge 1999年

**【備考】**

講義に関する連絡は、manabaまたはGoogle Classroomを使用します。

**【学修の準備】**

予習は、指定された読書課題をして、理解できない部分をチェックしておくこと。(80分)  
復習は、講義の学修内容をまとめた勉強ノートを作成すること。(80分)

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

(DP2) 言語聴覚療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している